



# 美味しい四万十はいかが？

## 5年ぶりに友好都市の中学生が枚方で販売学習

◎写真あり (過去の販売の様子)

4月12日(金)、友好都市・四万十市の西土佐中学校2年生16人がニッパーク岡東中央で地元の特産物を販売する。四万十市と枚方市は友好都市であることから、平成21年から毎年この時期に修学旅行の行程の一つとして販売学習を行っていたが、コロナ禍で中止となっていた。5年ぶりの実施となる今回は特産品20品目を販売。時間は午前9時から11時までで、売切れ次第終了となる。

★販売するのは、すべて四万十市の特産品。山間部を流れる四万十川の支流の冷たい水を使い、甘味を多く含んだお米「山間米(さんかんまい)」、地元産のいちごがたっぷり入った、ぷちぷちとした食感が楽しめる「いちごようかん」、甘みと酸味が絶妙な「ゆずドレッシング」、柚子の皮を砂糖で煮詰めた西土佐の郷土料理「柚香(ゆこう)」など、全部で20品目。

★販売学習は午前9時から11時までで例年、時間中に完売している。販売ブースでは、商売にシビアな関西のお客さんに売り込むため、中学生たちが手作りのチラシと商品を両手に持ち、大きな声でお客さんを呼び込む一生懸命な姿が見られる。過去に販売学習を行った生徒からは「販売は大変な仕事だということが分かった」「枚方市民のみなさんに声をかけた時に、やさしく応えてくれてうれしかった」などの声があった。

★枚方市が四万十市の前身である中村市と友好都市協定を結んだのは昭和49年で、令和6年は提携して50周年となる。中村市は平成17年に西土佐村と合併して四万十市となったことから、平成20年、枚方市の市制施行60周年を記念して再度友好都市提携の調印を行っている。

(過去の販売の様子)



<お問い合わせ>

観光にぎわい部 観光交流課 ☎ : 072-841-1357 FAX : 072-841-1278